

NDK RPA マスター認定制度の開始について

当社では、平成 30 年 9 月 1 日より、RPA マスター認定制度を始めました。企業を中心に「働き方改革」が叫ばれている中でパソコン業務の単純作業を自動化することができる RPA(Robotic Process Automation)が注目されています。RPA の開発ツールは、プログラミング未経験者でもロボットを作成できることが特徴であり、業務の担当者が自分で業務を自動化できるため、短期間で業務の効率化が期待できます。

当社におきましても、販売ソリューションの 1 つとして取り扱っておりますが、社内でも活用するため、RPA 導入プロジェクトを立ち上げました。

RPA を有効に活用するためには、ある程度の IT スキルと業務スキルが必要ですが、「RPA の IT スキルをもった人が業務スキルを習得する」より、「業務スキルのある人が RPA の IT スキルを習得する」方が早く、また広範囲に活用が広がると考え、実際に RPA を運用する各業務部門からメンバーを選出し、開発ツールの習熟を進めながらロボットを作成しました。

プロジェクト内では、開発ツールの熟練者を「RPA マスター」と称しておりましたが、具体的な評価基準がなかったため、RPA のスキルレベルを認定する制度を開始しました。

RPA マスター認定では、RPA の基本的な操作を習得した方以上を対象とし、レベルに応じた 3 段階のクラスを設けて評価を行います。

(制度の概要は、下記リンク先のポスターをご参照ください)

[RPA マスター認定制度を始めました](#)

RPA マスターを社員保有スキルの一つとして評価することにより、スキル向上のモチベーションが高まるとともに、各業務部門人材による主体的な働き方改革の促進と活動の継続が期待できます。

<認定証の授与>



※2018 年 9 月 7 日現在で 14 名が Class 3 認定を取得